

第13回議会報告会 高砂市民病院に関する研修会アンケート集約結果

開催日:令和元年7月25日(木)14時00分~15時30分

開催場所:高砂市役所 南庁舎 5階 大会議室

参加者:議員19名、市民66名、市職員27名、事務局7名

合計119名(アンケート回収:83枚)

1 性別についてお答えください。

男性(50名) 女性(33名)

2 年齢について、お答えください。

10歳代(0名) 20歳代(0名) 30歳代(6名) 40歳代(7名)

50歳代(20名) 60歳代(21名) 70歳代(22名) 80歳代以上(7名)

3 研修会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

広報たかさご(39件) 市議会ホームページ(3件) 自治会回覧(14件)

議会専用掲示板(9件) 新聞(12件) 市議会 Facebook(2件)

その他(11件:紹介、友人、庁内通知等)

4 今回の研修会について。

わかりやすかった(65件)

わかりにくかった(7件)

どちらともいえない(2件)

5 研修会に参加されて、いかがでしたか。

良かった(70件)

どちらともいえない(6件)

良くなかった(1件)

6 研修会に参加されて、ご感想・ご意見等がありましたら、お書きください。

- ・もう少し時間があればよかったと思う。
- ・市民に聞く機会を設けてもらいよかったです。このような機会を様々なことで開催してもらいたいです。
- ・高砂市も工場から医療介護の産業転換が必要になると思われる。ハードからソフトへ転換する必要がある。
- ・市民病院を救うために、市民の協力が必要と考える。
- ・高砂市民病院が生き残るには他との差別化が必要だとわかった。
- ・税を投入しても市民病院は維持すべきと考えている。
- ・具体的な高砂市民病院の存続化についてわかり易い説明でした。
- ・配付された資料の文字が見にくい。
- ・今回の研修会をふまえて市議会として、財政問題、市民サービス等市政全般を考慮してこれからの市民病院の形態を考えてほしい。その結果を市の方針として市民集会で説明してほしい。

- ・医師もヒトであるという当たり前のことに気付かされました。今後、受診の際は「ありがとうございます」と言いたいです。
- ・私は税金投入を市民の為に使ってほしい。病院（職員）は甘えている。近くに公立のちゃんとした病院があるので、今の公立として守りすぎている。
- ・患者目線の話、高砂市民病院の実態についてもう少し詳しい情報がほしかった。
- ・高砂市に1つは大きな病院もあるべき、介護など受け入れ寂しいです。子育てにも良い環境を作ってもらいたい。活気をもどしてほしい。そもそも地元雇用がなくなり、それが原因で悪循環になっている。私たち一市民として意識することが大事ではないかと思う。
- ・老人介護施設も満杯で入れなくなると思います。フロアの一部をそういう施設にして欲しい。
- ・現在の状況は良くわかりました。①医師不足②古い建物③病棟の不使用部分④患者の足の確保、この様な高砂市民病院の問題点に対する解決策をもう少し具体的にしてほしい。
- ・どう再生していくかを真剣に考える必要があることを痛感した。
- ・病院食はまずくはないと思う。事務方の対応はすごく良いです。
- ・議会報告とコラボがよかったです。高砂市民病院一キセキを起こしましょう!!
- ・あらゆる知恵と手段を使って、存続、経営改善をして欲しいと思います。
- ・小児科、産婦人科、新生児科が出来る程にほしい
- ・市民病院をとっても身近に感じ、必ず立て直し、高砂のシンボルとして愛していきたいと深く思いました。
- ・地域づくりの核、地域産業という観点からの取り組みの重要性を認識しました。それらの核として、医療、wellness、welfareなどの産業としてのクラスターを形成できるような関係性の構築が肝要と思います。
- ・農業振興もからめて地域産食材の活用価値も考えるべきですね。
- ・医師を集めるのに、クラウドファンディングの活用もいいのかなと思います。
- ・市、病院、患者、市民などもっと話し合いが必要であり、医師の増員などが急がれる。
- ・繰入金について、考えが変わりました。加古川との連携、個室化よいと思います。
- ・給食は正直、微妙です。JAや漁協などと連携してよりおいしくなるといいと思います。
- ・少子高齢化、医療者不足に備えて、市民の健康アップや介護スキル習得機会などがあればと思う。まちの保健室カフェ to beさんの活動がよい例になると思う。
- ・2025年に向けた件の地域医療構想について、もっと住民に情報提供して、今後の市民病院のあり方について、検討できる機会をもってほしい
- ・過去の病院機能に関する質疑を受けるべきだった。市民を集めての集会ではなかった。
- ・市民病院にはぜひ存続してほしいと思いました。ただ、そのために入院患者を増やさなければならぬということに違和感もありました。病院として当然とは思いますが、健康維持のためのイベントなども行われているので。
- ・誰がいかに協調し合うか実行展開を望みます。病院・医療関係者だけでなく、市職員と市民の合同としたいです。
- ・人件費を市民の雇用の場と考え、病院を事業者として見ることができ、存続が違った観点からも必要と考えられる。そして、何より地域づくりの核として、病院を活性化させるのが、市民として必要であると思った。
- ・反行政、反高砂、何ごともアンチではいけない。みんなで考え、みんなの共有物、財産としていけないと改めて思った。いい機会になった。
- ・高砂市民病院の再生に住民としてどのようなことができるか考えたい。行政と議会に任せっぱなしではいけない。今日の研修会は引き続きやってほしい。議論する場をみんなでつくろう!